

高知県立大学 イケあい
地域災害学生ボランティアセンター

【大学生部門 大賞】

大学生の役割 地域で発見 地震、災害を身近に 意識の高揚に貢献

未来に被災する地で行う “未災地ツアー”の 企画・実施



とにかく地域を知る。
年齢なんて関係ない。
1人1人の力は無限大。

高知に来て、
海の近さを知ってほしい。
被害を想像し、災害の
危機感を持ってほしい。

南海トラフ地震はくるけど、
誰にも苦しい思いをしてほしくない。
自分たちが活動することで、少しでも被害を減らしたい。



地域の方に、「大学生がいると心強いね」
「大学生がいると行事が盛り上がる」
と声をかけてもらった。
地域とつながり、自分たちに
できることにチャレンジしたい。

「楽しい」を キーワードに踏み出す 防災の一步

地域貢献団体MMM

【大学生部門 優秀賞】

どんなときも助け合える、 支え合える関係づくりを

大学生も地域の一員に



区民防災交流会の開催



活動を通し、地域の方と
顔の見える関係が広がってきた。
活動以外の場所で会っても、
声をかけ、立ち話ができる。
時には畑の野菜をもらえる。
日常の関係ができてきた。

「防災」を考えると、
地域には様々な人がいる。
「障害を持つ人」にも
目を向けてほしい。



地域防災セミナーの実施

学生は、地域からすると“よそ者”。
でも、私達は地域の“孫”になれる。
「大学生が頑張っているから、頑張ろう」
そう言ってもらえる存在になれる。

まずはあいさつから。
あいさつなら、誰でも
すぐに始められる。

あいさつは地域を変える あいさつで地域が変わる